

## 「新たな食品への挑戦 ―新しいタンパク源を考察する―」を実施しました

実施日：令和3年7月10日(土)

理数科3年次生を対象（参加生徒：5名）として昆虫食に注目して、国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 国立健康・栄養研究所 食品保健機能研究部健康食品情報研究室 室長種村 菜奈枝先生と連携し、新講座「新たな食品への挑戦 ―新しいタンパク源を考察する―」を実施しました。

この講座は今まで実施してきた外部機関連携講座と本校のクロスカリキュラム（教科横断型授業）を融合させた、新たな取組です。

まず、午前中に家庭科の視点から「食べる」という授業を実施（写真：上）、その後、種村先生からの「昆虫食」についての講座・「昆虫食についてのベネフィットとリスク」についてグループごとにディスカッションをし、その成果を発表（写真：中）しました。午後は、食品中のタンパク質の定量分析を「ケルダール法」を利用して実験（写真：下）し新しいタンパク源としての昆虫食について考察をしました。

受講した生徒からは、「昆虫食はビジネスとして発展していそうなのに、日本ではマイナーな食品として扱われていることに疑問を持ちました。昆虫食にはガイドラインがあり、まだ日本ではベネフィットとリスクの観点で評価途中であり、すぐに普及するのが難しいことがわかった。」と感想がありました。また、ディスカッションした後の発表も楽しく、実験もあり食品への理解が深まったと話をしてくれました。



講座実施風景写真